

11月10日公開

第4回 ラグビーワールドカップがフランスで開催

9月8日から10月28日にかけて、ヨーロッパの**フランス**でラグビーワールドカップが開催されました。

2019年に日本で行われた前回大会で初の決勝トーナメントに進んだ日本代表は、一次リーグで次のチームと対戦しました。

アルゼンチン（南アメリカ）

チリ（南アメリカ）

イングランド（ロンドンなどを含むイギリスの地方）

サモア（南太平洋の島国）

首都の**パリ**で開かれた決勝戦では南アフリカ共和国がニュージーランドをやり取り、2大会連続で4度目の優勝をなしとげました。

ラグビーは**イギリス**の一地方であるイングランドで発祥し、歴史的ないきさつから、イギリスの地方であるイングランド・スコットランドなどがそれぞれ単独のチームとして出場しています。また、ニュージーランド、オーストラリア、サモア、南アフリカ共和国など、もともとイギリスの植民地で、現在も広く用いられている言語が**英語**である国が多く出場しました。

優勝国の南アフリカ共和国では、かつて少数の白人が多数の黒人を支配するアパルトヘイト（人種隔離政策）が行われていましたが、1994年にこの政策は廃止されました。そして、今回の大会では、前回の日本大会と同じシヤ・コリン選手が同国初の黒人のキャプテンとして出場し、チームを優勝に導きました。

次回大会は2027年にオーストラリアで開催されます。

また、フランスの首都パリでは、2024年に**夏季オリンピック**が開催されます。

チャレンジ問題

- 1 今回のラグビーワールドカップの決勝戦が行われた都市では、2024年に夏季オリンピックが開催されます。この都市の名を答えなさい。
- 2 ラグビーワールドカップに出場した国であるニュージーランド、オーストラリア、サモア、南アフリカ共和国、イングランド、スコットランド、アイルランドに共通して広く用いられている言語は何ですか。

答え

- 1 パリ
- 2 英語